

**UNITE
FOR
GOOD**

やらまいか

クラブテーマ:もっとロータリーを楽しもう!

会長/笠原盛泰 幹事/土井昌司 会報委員会/井澤秀明 田中健一 梅村剛央

例会場/毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所 ☎0533-86-4101

事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 ☎0533-86-2535 Fax0533-86-8889 Email:hoirc@sala.or.jp

本年度第27回 通算1822回 2026年2月3日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	1/20 修正出席率
		74名	39名	58.2%	91.2%

ゲスト:豊川RC 米山奨学生 サッスー・ピタイポンさん (通称ヨークさん) ビジター:(なし)

合同節分例会



★副会長あいさつ

横山修一副会長



本日は笠原会長が所用のためご欠席となりましたので、代わりましてご挨拶申し上げます。

節分例会ということで、多くの皆

様にご出席をいただき、誠にありがとうございます。三年前にもこの場でお話しする機会を頂きました。その際は「なぜ節分に豆をまくようになったのか」という、古事記にまつわる説をご紹介します。私としては渾身のネタでございましたので、あれ以上のものはなかなか持ち合わせておりませんが、後日、ある会員の方から「あの古事記の話は面白かった」とお声をいただき、大変励みになったことを覚えております。

節分は、単に豆をまく日というだけではなく、季節の分かれ目にあたる大切な節目です。古来より、季節の変わり目には邪気が入りやすいとされ、人々はそれを追い払うためにさまざまな行事を行ってきました。豆まきもその一つであり、「鬼は外、福は内」と声を出すことで、心の中の不安や迷いを払い、新しい季節を清々しい気持ちで迎えるという意味が込められています。

最近特に寒さが厳しく、体調管理が難しい日が続いております。寒空の下、舞台の上から豆をまくにも、ヒートテックやブレスサーモといった吸湿発熱素材の下着が本当に役に立ちます。吸着熱という仕組みで、夏の打ち水が蒸発によって周囲の温度を下げるのとは逆に、乾いた生地が素早く湿ることで発熱します。我が事業所でも一部取り扱いがありますが、技術の進歩によって、昔なら考えられなかった快適さが得られるようになり、便利な世の中になったものだと感じます。

しかし、どれだけ技術が進んでも、季節の節目に心を整え、無事を祈るという日本人の感覚は変わらないものだと思います。

本日の節分を機に、皆様が一年を通じて健やかに、そして笑顔でお過ごしになれますよう、「鬼は外」と厄を払い、「福は内」と幸せを呼び込む気持ちで、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

★豊川RC会長あいさつ

田中粹人会長



皆さん、こんにちは。本日は、合同節分例会で豊川RCがホストを務めさせていただきます。

昨年開催をしま

した地区大会には、豊川宝飯RCの皆さんに2日目の駐車場案内のお手伝いをして頂きました。ありがとうございました。

今年は創立40周年ということで、先月に記念講演会が行われ、ポリオプラスの周知活動をされておりました。豊川市民に対して、良い周知活動になったと思います。

先日、地区のクラブサポートミーティングに出席をしてきました。2760地区の84クラブの中で、100名以上のクラブは7クラブあり、名古屋が一番多いです。20名以下のクラブは7クラブです。クラブ運営もとても厳しいのではないかと思います。豊川クラブも豊川宝飯クラブも70名を超える安定クラブですので、合併したら名古屋に次ぐ勢力になるかと思えます。

米山奨学生のサッサー・ピタイポンさんに今月の奨学金を渡したいと思えます。

★米山奨学生スピーチ

ヨークさん



おはようございます。私は、日本に来てから6年目になります。今日は初めて節分を体験できました。上下、袴を着て、足袋をはいて、豆をまきました。

とても良かったです。皆さんと良い経験、良い思い出を作れました。貴重な経験になりました。また機会があればやりたいと思えました。鬼は外、福は内、ありがとうございました。

★豊川RC幹事報告

吉田広明幹事

2月18日例会について

2月14日東三河分区IMについて

春の行楽の募集終了について

★幹事報告

土井昌司幹事

2月21日の創立40周年記念式典の集合について

★宮司ごあいさつ

岩崎和夫宮司

★節分祭



皆さん、こんにちは。今日は、豊川RC、豊川宝飯RCの皆様方に当参集殿をご利用頂きまして誠にありがとうございます。また有志の方には、節分祭、豆まき式にご参加を頂きました。たくさんの方に福をお分けすることが出来ました。豆とお菓子を沢山まいていただき、ありがとうございました。

また、米山奨学生のサッサー・ピタイボンさんにも正式な服装で豆をまいて頂きました。日本の正式な伝統に少しでも触れて頂けて良かったと思います。豆をまいて、福を呼び込み、悪を払って、今後の道も開けて、特に今年は午年ですので、きっとウマくいくかと思えます。

皆さんにご報告があります。今年は豊川稲荷で72年ぶりの午年の御開帳があります。豊川稲荷は、日本の三大稲荷であります。同じ豊川市内にあって神社を代表する砥鹿神社とお寺を代表する豊川稲荷なので、何か私どもも協力できないかと思ひ、当クラブの戸田会員の松源院さんをお願いをして、豊川稲荷にお話し申し上げたところ、方丈様がおいでになり、私共と話し合いをしました。これから色々と考えておりますが、まず一つは、午年の絵馬を共通の絵馬として作りました。砥鹿神社の拝殿の西側に絵馬が設置してあります。墨絵師の西元祐貴さんが書かれた力強い馬の絵を絵馬として設置しています。11月の御開帳の間に、私たちは正装をしてお参りをさせて頂く予定になっています。いろんな方にご協力を頂き、三河を代表する行事を皆様にも知って頂き、豊川市の活性化になれば良いと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



★節分祭



★節分祭



★地区委員会

2月5日に地区の財団補助金管理セミナーが名古屋東急ホテルで開催され、次年度会長、次年度ロータリー財団委員長、事務局が出席をしました。



会報担当：井澤秀明・田中健一・梅村剛央